



古今俳諧明題集

夏之部

5
923
2



古今俳諧明題集夏部目錄

更夜	并拾	後初葉	五二
當麻祭	三	三	三
松前渡	四	四	四
音暴風	五	五	五
新茶	五	五	五
布穀	後八至	後八至	後八至
鹿草	後十五	後十五	後十五
秋蘭	十一	十一	十一
卷	十二	十二	十二
青葉	二	二	二
日吉祭	三	三	三
千代園	四	四	四
短衣	四	四	四
麥殊	五	五	五
魚鯨	六	六	六
剖葺	十	十	十
鰻鰯	十一	十一	十一
螢	後十二至	後十二至	後十二至
蛸	十二	十二	十二
抗磨祭	二	二	二
加茂祭	三	三	三
夏駒寺	四	四	四
夏月	四	四	四
新麦飯	五	五	五
杜鵑	後六至	後六至	後六至
鳥辞巢	十	十	十
蟻螞	十一	十一	十一
繩	十二	十二	十二
蜘蛛子	十二	十二	十二

古今俳諧明題集夏部目錄

目錄一

新斷	ナニ	體	十四	阿未加	十四
松魚	十四	溪鱸	十四	阿未加	十四
芍藥	十六	蓮子花	後十五	牡丹	後十四至
嬰粟	十七	虞美人	十八	蜀葵	十七
蝴蝶花	十八	加佐之	十八	鸞尾	十八
蕃薔花	十九	野薔薇	十九	意波	十八
野薔薇	十九	若花	十九	續斷	十九
卷心葛	二十	款冬	二十	卷心芭蕉	二十
新藕	二十	萬荷	二十	紫藤	二十
篠筍	廿一	白前花	廿一	筍	後二十五
桐花	廿二	賴桐	廿二	海帶	廿二
				椀桐	廿二

滿庭枝	廿二	新葉	廿三	新雄根	廿三
葉櫻	廿三	海楊	廿四	夏柳	廿四
復木立	後廿四至	木下暗	廿五	常葉木	廿五
加茂足齋	廿五	同競馬	廿六	白葛	廿六
檄	廿六	粽	廿六	五月雨	後廿七至
五月暗	廿八	水鷄	後廿八	水子	廿八
復原	廿九	毛後鳥	廿九	魚	廿九
復原	廿九	鍋牛	三十	酒	廿九
復原	卅一	乾河	卅二	百合	卅二
勞春花	卅二	復菊	卅二	萱子	後卅三至
金銀花	卅三	夏花	卅三	紅藍	卅三

藤 觀 艸 卅五
 青 田 卅五
 地 膚 卅五
 紫 茄 卅六
 蒙 蔚 卅六
 新 竹 卅七
 粉 固 花 卅八
 梔 花 卅八
 栗 花 卅九
 青 小 椒 卅九
 石 菖 蒲 卅五
 耘 卅五
 苺 卅五
 水 茄 卅六
 菰 刈 卅六
 杜 鵑 花 卅七
 合 歡 花 卅八
 梅 花 卅八
 依 雲 兜 波 卅九
 小 柚 花 卅九
 青 梅 花 卅九
 田 植 卅四
 葵 卅五
 早 松 葉 卅五
 紅 豆 卅六
 裙 帶 菜 卅六
 紫 陽 花 卅七
 松 栢 花 卅八
 栲 栢 花 卅九
 棟 卅九
 青 小 柚 卅九
 枇 杷 花 卅九

葛 卅四
 祇 園 神 興 洗 卅四
 不 老 垢 敵 卅一
 不 二 膏 消 卅二
 暑 卅五
 薰 風 卅六
 鞍 馬 竹 伐 卅八
 單 卅九
 浚 井 卅九
 葛 粉 水 卅九
 瓊 脂 菜 卅九
 山 田 脚 田 葛 卅四
 破 卅一
 不 二 消 卅一
 不 二 抄 膏 卅二
 雲 峰 卅二
 避暑 卅八
 指 扇 卅八
 竹 皮 人 卅九
 曝 布 卅九
 殮 飯 卅九
 冷 餅 卅九
 傳 吉 佛 田 植 卅四
 冰 密 卅一
 祇 園 今 卅一
 去 用 曝 卅二
 冻 雨 卅五
 射 者 納 涼 卅八
 團 扇 卅九
 樹 香 卅九
 清 水 卅九
 餉 卅九
 練 若 毛 子 卅九

飛鶴	後五十二至五十四	飛鶴	五十四	鵝鴨川	五十四
川魚	後五十四至五十五	海鱈	五十五	鰯	五十五
海母捕	五十五	萍	後五十五至五十六	蓮花	後五十六至五十七
菱花	五十六	葎草	五十六	蓮花	五十七
剪刀草	五十七	踏踏草	五十七	鰻麥	五十七
風葉	五十七	地冬	五十七	鋸齒葉菜	五十八
射干	五十八	梓昂草	五十八	虎身草	五十八
葛花	五十八	鼓子花	後五十八至五十九	壺盧花	五十九
匏花	五十九	凌霄花	五十九	向日葵	六十
芋綿花	六十	茅膏菜	六十	海草	六十
麻州	六十	益州	六十	甜瓜	六十一

百日紅	六十一	五備祭	六十一	任吉祭	六十一
御後	六十二				



古今俳諧明題集夏部

更衣 并給 ころもくへ
あこせ

計のあはたるにくぞゑらへ
 といほどに柳うごくやあろそへ
 君さやうか花倫ヌスヒト見やこ詠もかへ
 物おとを袖のそとせや文衣
 大橋へ甜仕にわひやあろそへ
 被るそをくはあろそへ
 飛て見くる石の梅園や文衣
 厨子マシスしほ曳あはるや更衣
 浴衣を出さうとやこのそへ

大坂 希因

芳室

涼借

全

玉斧

去 梅路

去 小川

加賀金沢 後水

洗雪

去の秘室も跡^スやみ^レは^レこ^レ入^レ
 葉^ハ乃^チを^シ護^ルま^シり^テ一^ハち^カ入^レ
 押^シ入^ルも^シ志^ム向^キに出^ルり^テ衣^ハ入^レ
 うの花^ハは^レ暖^クさ^ヤま^シさ^シよ^ク衣^ハ入^レ
 り^ハ見^レま^シむ^レ葉^ハ短^ク一^ハこ^ノも^ウ入^レ
 襟^ハ一^ハ小^ナ柄^ノが^シあ^シ日^ノや^ハ衣^ハ入^レ
 蒲^ハ公^ノ英^ハは^レ跡^ハも^シ飛^ルる^も更^ニ衣^ハ入^レ
 芽^ハ野^ノ一^ハ枝^ハの^クく^ヤ赤^クも^ウ入^レ
 変^シの^ク一^ハに^シ出^ルる^も一^ハこ^ノも^カ入^レ
 む^もび^めは^レぬ^えは^レ得^ヤ赤^クも^ウ入^レ
 肩^ハ衣^ハ乃^チ依^リ打^レる^も古^ノ呂^ノ當^ノ加^レ倍^ノ

六 梯
 可 登
 六 梯
 一 紅
 祇 德
 飛驒^山 竹 母
 上毛豊岡 汶 上
 意 山
 出 伊 山
 洞 居
 笑 林

こ^ノと^クに^シ力^ハは^レぬ^もあ^シせ^ルも^ウ
 春^ノの^ク後^ハ進^ムけ^テ出^ルる^もハ^シ歩^ク
 冨^カ奴^ノ戸^ヲを^シ一^ハと^クは^レ給^ルも^ウ
 衣^ハあ^シび^の川^ハへ^チう^チ給^ルも^ウ
 挖^テ見^レる^もを^シ認^ムる^もあ^シせ^ル
 四^ノ條^ハ一^ハの^クも^ウ給^ルも^ウ
 夏^ハ瘦^クは^レ一^ハ日^ノ齋^ムも^ウは^レ歩^ク
 腹^ハ福^クを^シ思^フの^クは^レた^シな^シ
 四^ノ方^ノ一^ハの^クも^ウ給^ルも^ウ
 捕^ゲ巻^クる^もの^クは^レ退^ク給^ルも^ウ

去 路
 可 登
 青 藍
 上毛平塚 泉 興
 東 起
 可 登
 山 州
 一 鼠
 破 了
 萩 文

青簾

あをま
たれ

さうつふにふの歌やきや
女房を拵く出しりきき
備例ハ山のそよぶやあをま

江 希 因
大 金 戸 谷
和 梅 人
村

筑摩祭

つくま
ははま

櫓 乃く瑞にかく水はつる

禹 貢

灌佛

とて代さかき水をえさめ
詩が孫と老婆はあはれ佛

ハナ
ミドク
房

江 戸 明
為 谷

よハ水の花飲しきき佛生
経持と夏はききひや華浄堂
水草花もまきりし
襟くまを人供し花房
高へくも衣に紙きりし
踊りて水をめくはや華房
今煉の染もくしや佛生
蓮池ハすくぬつし花房
歌ハうかきりききり
ふろえにもききりし
若あまの門の袂に佛生

凉 備
全 百 弁
阿 坡
去 路
分 江
柳 波
雲 郎
破 了
信 濃 松 本
友 友 梅

日吉祭 ひえま

庚崎の雨ははりど日暮

東起

加茂祭 かものまつり

糸を マトリキ ちりちりしてはつり

去路

當麻祭 たいは

まつり

若儀にもたむこ マ 間や疎休

東起

交通 ツグ へ来る息 フエ は地勢や疎休

武因山

千米團 せんぼん

だ

子米團今や松栢の刃に代り

上毛岡野
麥央

夏駒牽 かつのこ

まひさ

素約の表や御簾をおさろり

涼備

約 マ 草や奇藤に枝の戸ハ志げ

百夫

駒 マ 草や於ハあるに喜 マ 水

汶上

松前渡 まつまへ

こたり

麦積 マ 船の的 マ や 白 マ 嶽

奥仙臺
等水

短夜 みよ

短夜や波は若きづき月も足む
みどりや炭はたきぬ御垣ち
短夜や歩けりて夏之夜夢に
見どりや夏の夜にも涼ひたりむ
短夜や床のまじりひたりにも

一紅 伊勢川寄

浮石

李北

五菱

涼城

夏月 なつ

なつのはら

雨雲れか花一りりり夏の日
汲水又の涼きてハ夏はるら夏月
白曉ハ水窓へ入るはなはのつあ

下毛真國

涼備

李趙

夜は月を照らすはるる日山

瀨城

青暴風 あま

あま

とくははるるはるるはるる
夏は来依露は林やまはるる
夏は来依露は林やまはるる

江戸

梅路

三楚

麥秋 むぎ

あき

秋は露をまきあむはるる
人里へ出さるるはるる
麦秋はるるはるるはるる

伊勢

萩露

麦秋や一季に一度は梅も有
色かゝり山あらしきれず麦秋秋
出づり家此回へど暮へば麦の秋
琴詩
筈叩
涼幣

新麥飯

まんむ
まわり

麦飯此あはれどや秋を又をまわり

涼幣
免由

新茶

象年ホシに整いそ其味 新茶少
新もあしー蓮乃ー久新茶少
巡礼乃聖定て出あ小新茶う那
圭宇
涼宇
西羊

山水は馬陸拂ふ新茶少那

奥州藤田
尹里

魚鮓

ふり繰りけき急ぐ一板鮓
菜メテうま地而く飯片や一板鮓

伯州多里
秋月
駿河
己令

杜鵑

不ホシとぎらし〜
おもいそい若とまうけちり杜鵑
おののねハ寐さ〜
傘た〜

涼免
涼幣
素園
野坡

夜に花も移れハ長一かき
ほも菜花雲踏こは
引す移てくれも尻也杜鵑
松愛り新靴皮鞋也かき
かきまひだまの空をやりし
結ひしそ皆さげ敷也ほも
解魔法師
やあふしを哀れとおもへかき
うづいをも嘘も古あやほも
畫きし橋を越えくほも
仰る度祿れうぢや杜鵑
空つれそ麻りゆく山也杜鵑

尾城 麥舟
露川
可登
梅路
九泉
楚岫
江戶 百庵
涼傘
白枝
桐井
能登輪嶋
其葉

つりしあし履を靴もや中も
つりしあし履を靴もや中も
瀬田舟橋もを短しはも
大佛も雪も舟もやほも
船此舟も故懐も旅人もかき
岸邊くふもあも言しほも
ほもよはあも言しほも
うけし孫の袖うたふてかき
梅りしあし履を靴もや中も
ほもよはあも言しほも
かきまひだまの空をやりし
かきまひだまの空をやりし

後川 加賀金沢 禹洗
江夫 同金沢 舍朵
太阜 下毛足利 梅志
岸虎 江戸 木路
信州松本 鶴老
同 左右 兒
伊勢山田 東棠

画馬ぬくふり 位やかむことり
母乃こまろ 叶小こもああんこる
薯蕷^{イモ}の敷とそれハ井あるま有敷
んこも帝一や圃^{ウツ}此林乃 著
かむことり舟もむうふも岩小居る
の世こごちさふーけれも耳の彼
る志ばー山り墨もそんこる
旭ほと人きつふああむことり
笥^{スツ}れ出て居依ぬ突やんこる
栗田志此りふとあてかむことり
午時飯^{ヒルメシ}乃談合^{ワタ}あや けんことり

可 出羽秋田
東
笑 林
青 藍
鳥 醉
白 枝
武騎西 笑 白
柳 居
琴 詩
越高津 深 魚
文 鷗

ゆくもれも日乃踏ハうかむことり
あててう人をおかむぬーかんことり

冠 子
一 鼠

割葦^{きやう}

あふこして見れどもたふらむぎやうくし
新^{フナ}鯨^{ウナ}れあぬ川上晴しきやうくし
葎^ワの種ハゆいづるえさうきやうくし
舟^{フネ}片草にしくこきやうくし
うかひすの海れるきやうくし
棧^{ツキ}船^{フネ}夫^{ツキ}此^{ツキ}ほそ依るけりきやうくし
論^ロ並^ナ此^コ虫^{ムシ}やえんけりきやうくし

高 月
可 由
玉 斧
洗 壺
仙 衣
雙 飛
去 路

病のそるるうそるう和、此きやうくく
もさく母形潜好也まやうくくし
山梅のちりも恥よきせうくく

鳥辭集

於格者此底と潜する辞集の柳
綴紙乃まて染まらうや
横へ先花て告天子此をむらぶ

鹿草
鹿草 何故うらうらと行もひまら

涼 帛
眠 石
麥 林

養 裴
瀾 城
下毛那頂
百 尋

涼 帛

麦時此いりわきまらうや
夜草此中に甲坼やぬらぬら此
中中尔此のそるるや

蝙蝠

うはひちや也光放り亭朽木りち
かまほりも心り小解けりきも奈し
蝙蝠也と傳あか解けり小解けり
うそるるも心を起し多るるうけ
蝙蝠や暗まをさるる居報
のな本本やさしうらうを伝う

眠 棠
竹 石
維 鳩

百 舟
眠 石
破 了
一 鼠
白 枝
江戸
什 國

かゝるはまの松たすぬさるけり村へ出依
塙橋や糸の情ふすのちねもとら
うはひもや画るまきへ方をうけて居る
梅福や己の目なごりのを冷し

涼素
涼俗
青藍
江舞巾

琵琶蛾のひに

粟とせぬおまーらへはうひこかか
卵のふもく家をとまをかいこら
卵く塙も是と信うひあうぬ

隠岐
梁山
江奇雲
笑林

蠶繭のまゆ

涼ーとも雲ささりやう繭入り

柳雪

螢るほ

冷ひさしうるは見えぬほろろ
乃終くうらうけてのくまう那
きれ奈へ水あらしと礼と雲のぬ
淡紙へ光のりどむほまう那の舟
湖大俯隔きまうまうたふしの舟
羨雲人の一葉もはなをまうが奈
小息女此あさいまうらうらうら
あはさうに女はうまむほのぬう舟

李趙
去路
涼宇
其梅
涼俗
雪叩
杜門
白枝

古今片歌明題集卷之二

十一

茶舟をんねく 朽きりほるるこの子
糸よりたふし雲 残るは抱くかたさく
蒲の穂より燈より 四るほのほり那
隻袖たえやけり 雲よりさくさく
塙橋乃麻眼やぬきて 飛つほるる
故懐より新母に 採りてさうか
善此ももちうり色 花つほるる那
小茅より淡く かまうや 飛つほるる那
雲より花 蒼きで まるきほるる那
浮素花より 花より 花より 花より
ふきまきりて 涙くほるる那

麻父 雲郎 六村 涼素 雞山 祇翠 下總多古 竹鶯 越前 可昇 阿僧 加峯

湖に満くハこと 海なく 花うなる
うき子につすみの 出来は 雲より
寺中に 証を 僧に 燈を 雲より 那
いくさびも 梅のかく 海なく 花うなる
にこそ なるくら 花家 根や 花が 雲

涼備 上毛前橋 不霜 大和芝村 素絢 笑林 青藍

蠅

糸のめは 然る中 懐の 花より
雨の 懐席 鷹より へを 花より

去路 超波

蚤

びーらひのばあへそりぬがらん
東門へは若は出るまほ牡丹
月の出る暈はかきほ牡丹
目うつりにあうりは被ほらん
さしつけ枝はへれ牡丹
偃臥をな乃かくるばたむか
杉戸く獅子はあまひく牡丹
停年のあも奥あはれがらん
あはれにそをよもや牡丹
あまづを遊出もがらん
際くを府につくはらん

麥舟
涼宇
李北
白陀
其梅
一鼠
雞山
五城
琴詩
可卿
深竹

捕巻に柱のそほほえん那
岡山をぬいそかく牡丹

山州
上毛桐生
舊礎

芍薬
芍薬やサ日あそえぞ家

氏金崎
立鼠

熨子花
遍照ハ船もつるき
負ふさ子はあへそほか記つ
はりあうと櫓さそそさほ
用のあふ水何そそあさほ

美濃
希因
吟水
雨鼻
越後高田
梅雨

藥梁のてそく 流るる 加茂部 婆多
 陸くくろく 水を 蕨や 々々 つはく
 水際 摺 勢の 幸や か 或は 々々
 割れ 魚は 々々 々々 義は 々々
 是く 後く 御地 母や 加 或部 婆多
 懐に 留めく 々々 々々 々々 々々
 水香の 流く 々々 々々 々々 々々
 蓮子 花 紫 若の 流く 々々 池 小 後く
 体 流の 々々 々々 々々 々々 々々 々々
 濁 子 雨 々々 々々 々々 々々 々々 々々
 跨れ 子の 神 々々 々々 々々 々々 々々 々々

可^白樂
 可也
 涼^白俤
 崇江
 希因
 柳^{上毛}居
 露^{上毛}田
 如^{伊勢}本
 藤^{山田}尺
 竹^{宇治}佐
 加賀^同金沢
 五

泉^下へ 本^下在^下也 々々 々々 々々 々々
 勅^下 々々 々々 々々 々々 々々 々々 々々
 公^下 々々 々々 々々 々々 々々 々々 々々
 鶴^下 鴉 々々 々々 々々 々々 々々 々々
 小^下 雀 々々 々々 々々 々々 々々 々々
 礎^下 々々 々々 々々 々々 々々 々々 々々
 粗^下 小 々々 々々 々々 々々 々々 々々
 業^下 々々 々々 々々 々々 々々 々々 々々

士^下 鳳
 白^下 山
 麥^下 林
 雙^下 飛
 笑^下 林
 白^下 杏
 祇^下 翠
 青^下 藍
 加賀^下 九
 兆

本り倦ころをれまゝ居るる夢うさ
ちりけほりりひもある夢うれ
上むり隔へ見せぬあふか那

備後福山
蘆道
伊勢井關
巴山

涼宇

罌粟 けし

罌粟れもぬい根れ百に散て居
後ハ来ぬ日吉れあふけけれ美
約朱の一日道——けけれを
足まろ那入ろまおむやけけのむ
蝶くれあきれく返けけしのも
疵もけし風り糸りけけけのそ

涼袋
阿僧
さと尼
涼袋
其梅
東起

ぬるもれど蒸る久——け志乃本

涼袋

虞美人 びあん

美人そなふやめ歌時の折涼——

奥仙臺
丈芝

鳶尾 いら

紫羅傘や花もいせても歌うたし
いららんや何をもとて家棟の上

去路
李趙

蝴蝶花 ぐしや

銅鈴けけ家取り鈴ふりや花を

上毛高崎
巴穂

加佐久留末 漢名 未詳

あはれそふて蝶をこ敷きや風くる後
なご白く新をまひしや風久るま
吹とくもほきしぬもれ風くるま
踏ばるにわーやう礼くち風くるほ
又すまハ侍芸のあねしやたぐま

江戸 冬花

眠石

武蔵宮 溜水

青藍

冠子

意波婦知 漢名 未詳

いもふちや 松此日法乃之小きく
いとふちや 松此日法乃之小きく
いとふちや 松此日法乃之小きく

希因

和鳴

蕃薇花 やうび

堅石のわあふ岡門やもかーやうび

江戸 蘭臺

野蕃薇 はら

横ワ糸ヒのよけくサカぬカやカむカうカびカ
同ノ濟リにヒ袖ヒこヒとヒふカやカはカうカびカ

武 二杉戸 毛

眠石

續斷花 むつたな

刈ハりハあハくハもハうハびハをハうハりハ花ハ
何ナニの時トキもモうウらラやヤ花ハ ハんン飛ト

大坂 温故

梅 従

野燕麥 ちやひ

合飲ハ狩ル水ハ流シ葉ハさき
老大に物ころついでちやひさき

沾雨 花明

苔花 こけの

若草あて青かきこちのまね
路あとの又ぬきりり苔花
息杖のけりりけりりや苔花
るで又は束の形や苔花

江ノ 舊戸 乙路 文儀 双飛

卷心芭蕉 たまぐ

画々みのかごりく見さき芭蕉水

去路

卷心葛 たまぐ

巻心葛水はくも水やき葛の露

阿波徳島 来雪

款冬 ふき

降る海と傘のけりりあ款冬圃

豊前小倉 如鼠

紫蘇 し

春日むねは色や海へ紫蘇圃

上毛前橋 不霜

新藕 はまの
又々孫
沟ツリにくひいはたまをまるう孫うな

足利
雨石

藕荷 はまの
くまも

先花乃塵とふ蓮れ浮葉水
飛石のもづれは蓮心くそ葉水

涼依
後川

筍 たけ
のこけ

筍やみどりいおともたをりしを
くけ乃こや鳩たけおふまくハおくは

常陸小田
雞山
潭水

くけのこや鬼の齒ハ根ハ葉ハ——
筍や水ハ流ハぎハに出るハもれもれも
舟の子や長るに衛ハくはたハりハ集ハ
たげれ予乃おろしハもハやハ水ハ塘ハ牛
舟の子や喜み魚れハ盗ハまハれハ也
筍や蚊乃冷ふ衣ハれハをかハきハおハいハせ
筍や何まハるハまハりハてハ水ハたハりハ
くけれハやハ何ハまハるハまハりハてハ水ハたハりハ

嵐雪
去路
雲即
涼袋
李北
一鼠
奥列来
湖秀
破子

篠筍 のこ

まぐ乃こや猪やらと根もたき水

越中魚津
倚彦

古今片赤明題集卷之二

まゝ乃こや 満るおろしは 好のつき

女 地錦

白荊花 まゝの

う乃ちハ毛にも 満るめりりあ
うのまやうにハ 暈とるるあ
うけ花や 濡れ袖を せきさきも引
白荊花や 清くささ ときも
うまをや 枯くハ 折るまを
うのう肌や 月おつ枝 折るる
う乃也や 執る水も ころりれ

凉宇 楚岫 求古 下路八日市場 鬼白 凉袋 古由 武本衣 白水

錦帯花 つなき

神垣を 両舎 挿け 花や せうつぎ
似せ乃又 挽く 簾や けふ
をうらき 籠の ころハ ぶと 垂く

斗白 凉湖 下毛那須 幽知

桐花 きりての

端切ハ井戸に 挿る 葉きりの花
桐乃也 小鳥の 挿れ 枝を
種ハ 来れ 似き せ け け け
きつ ぎハ 鳴し け け け 桐の
葉の 昼の おろし け け け

門瑟 凉袋 白枝 凉宇 胡周

古今和歌集卷之二

とれ 志里乃 雀も 暮る 柳の 花

大和 晴 帆

頼桐 ひきま

婿 ^{ムコ} 志 ^{ムコ} 乃 ^{ムコ} 雀 ^{ムコ} も ^{ムコ} 暮 ^{ムコ} る ^{ムコ} 柳 ^{ムコ} の ^{ムコ} 花 ^{ムコ}

肥前平戸

免 延

花 ^{ムコ} 乃 ^{ムコ} 雀 ^{ムコ} も ^{ムコ} 暮 ^{ムコ} る ^{ムコ} 柳 ^{ムコ} の ^{ムコ} 花 ^{ムコ}

吐 雲

桜桐花 志少

揮 ^{ムコ} と ^{ムコ} の ^{ムコ} 乃 ^{ムコ} 雀 ^{ムコ} も ^{ムコ} 暮 ^{ムコ} る ^{ムコ} 柳 ^{ムコ} の ^{ムコ} 花 ^{ムコ}

上列赤岩

度 江

満庭枝 呼く

半に水とる乃が雀も暮る柳の花

呼 雪

新生葉 志少

水 ^{ムコ} 乃 ^{ムコ} 雀 ^{ムコ} も ^{ムコ} 暮 ^{ムコ} る ^{ムコ} 柳 ^{ムコ} の ^{ムコ} 花 ^{ムコ}

李 北

花 ^{ムコ} 乃 ^{ムコ} 雀 ^{ムコ} も ^{ムコ} 暮 ^{ムコ} る ^{ムコ} 柳 ^{ムコ} の ^{ムコ} 花 ^{ムコ}

涼 袋

や ^{ムコ} 乃 ^{ムコ} 雀 ^{ムコ} も ^{ムコ} 暮 ^{ムコ} る ^{ムコ} 柳 ^{ムコ} の ^{ムコ} 花 ^{ムコ}

玉 斧

時 ^{ムコ} 乃 ^{ムコ} 雀 ^{ムコ} も ^{ムコ} 暮 ^{ムコ} る ^{ムコ} 柳 ^{ムコ} の ^{ムコ} 花 ^{ムコ}

涼 沙

高 ^{ムコ} 乃 ^{ムコ} 雀 ^{ムコ} も ^{ムコ} 暮 ^{ムコ} る ^{ムコ} 柳 ^{ムコ} の ^{ムコ} 花 ^{ムコ}

其 梅

樹 ^{ムコ} 乃 ^{ムコ} 雀 ^{ムコ} も ^{ムコ} 暮 ^{ムコ} る ^{ムコ} 柳 ^{ムコ} の ^{ムコ} 花 ^{ムコ}

一 鼠

葉 ^{ムコ} 乃 ^{ムコ} 雀 ^{ムコ} も ^{ムコ} 暮 ^{ムコ} る ^{ムコ} 柳 ^{ムコ} の ^{ムコ} 花 ^{ムコ}

秋 瓜

葉 ^{ムコ} 乃 ^{ムコ} 雀 ^{ムコ} も ^{ムコ} 暮 ^{ムコ} る ^{ムコ} 柳 ^{ムコ} の ^{ムコ} 花 ^{ムコ}

一 鼠

むふにもぬ待人もあつこころ
をうつはくもあつたや夏あつ
当夜も馬士乃素紙お夏あつ
あつひふれあつにハおり一夏あつ
も枕一夏の痕やあつあつ
菅笠とさあつあつあつあつ
目も備つておつあつあつあつ
あつあつあつあつあつあつ
あつあつあつあつあつあつ
あつあつあつあつあつあつ
あつあつあつあつあつあつ
あつあつあつあつあつあつ

可登
常陸小田
後丘
可由
凉袋
双鹿
去路
三楚
白枝
荻丈
琴詩
起鳳

あつあつあつあつあつあつ
あつあつあつあつあつあつ
あつあつあつあつあつあつ
あつあつあつあつあつあつ
あつあつあつあつあつあつ
あつあつあつあつあつあつ
あつあつあつあつあつあつ
あつあつあつあつあつあつ
あつあつあつあつあつあつ
あつあつあつあつあつあつ
あつあつあつあつあつあつ
あつあつあつあつあつあつ

里卿
瀾城
李址
斗白
平胡

木下園

あつあつあつあつあつあつ
あつあつあつあつあつあつ
あつあつあつあつあつあつ
あつあつあつあつあつあつ
あつあつあつあつあつあつ
あつあつあつあつあつあつ
あつあつあつあつあつあつ
あつあつあつあつあつあつ
あつあつあつあつあつあつ
あつあつあつあつあつあつ
あつあつあつあつあつあつ
あつあつあつあつあつあつ

破了
雨篁
大阜
阿波日知佐
文水

梅法に日始ニホひああさニホき河免
もももやニホ陸にまやの收ツツリ 鷹ツツリ
山門ニホ一ニホまつくまやニホさニホる
留ニホく流れニホてあニホるニホ一ニホ月取
采陽ニホの望ニホる志ニホつニホやニホる
く少ニホも川ニホあニホるも川ニホさニホる
るニホるニホ一ニホあニホるニホ種ニホもニホる
此ニホれニホやニホ川ニホさニホるニホ種ニホもニホる
挿ニホ處ニホ如ニホくニホ種ニホもニホる
さニホるニホやニホ高ニホいニホるニホまニホるニホる
さニホるニホやニホ高ニホいニホるニホまニホるニホる

秋干
武ニホ志
雁ニホ飛
全
千竹
不ニホ席
司ニホ鏡
免ニホ士
京ニホ負ニホ徳
可ニホ也
米ニホ仲

櫻ニホ子ニホにニホおニホれニホてニホ久ニホしニホもニホるニホるニホる
尺八ニホ中ニホへニホ徹ニホるニホやニホさニホるニホるニホる
五ニホつニホるニホやニホ高ニホいニホるニホまニホるニホる
五月ニホ雨ニホ也ニホ今ニホ野ニホるニホるニホるニホる
五月ニホ雨ニホ也ニホ今ニホ野ニホるニホるニホるニホる

王才
涼袋
破ニホ了
黄牛
笑林
涼袋
石見大回
邦石

五月園

紫ニホ子ニホにニホおニホれニホてニホ久ニホしニホもニホるニホるニホる

毛脱鳥 とぬけ

風乃あひまと友とやぬぬけを
像寛と信も毛ぬぬけを

兔洲
西羊

喚起鳥収音 うぐひす

うぐひすや子にうひおけくきとさ

白枝

復櫛 うづり

櫛に吹くさけや

正秀

文りや夏の櫛場と大にわら

梅路

あ乃月よ火事やあ乃川まも

破了

蝸牛 うごつ

雷角びとあやうつあ

尾張
一水

角むもびと曲張ひえと端牛

去路
能登路

運来りし形へ池やうつあ

かこつあちあ牛 桐と持あ

晚九

あれはどい貫やも角や端牛

禹月

柳くさくさるる病引 端牛

凉袋

かきおあまら 端牛

阿坡

播鐘乃あまら 端牛

一音

あまらるるあまら 端牛

紫苑

ま角れちりぬ磁のやゝつふあ
るをへのほけりく 如峰 嶋牛
之勝こつちふふ大肥やゝつふあ
百多と掌くあまゝやゝつふあ
隣しく幾見ゆあごごつふあ
耳塚に取出一くまのほつあ
蓬乃系外ふえちり 嶋牛
後多々々角ハ清くあつあ
あまゝつちふふあつあ

乙 姑
如 峰
馬 明
百 井
涼 宇
示 行
乙 路
瀾 城
近江 日野 緑 江

莎雞 おはた

く〜これやあけへ二海嶽あり
く〜おまあまふも好乃 漆膏

千 山
千 林

避蚊火 マカバ

蠹^{ユラカホ}乃むせくハひらく蚊をくれ
む〜〜〜後れきつおのかやま
惟光ハ涙去ぼ〜〜〜や〜あり奈
引裂くおまひきるおの〜やり
下ひろり〜〜〜おの〜かやま
残たさる幾度も起く故やま
流つ〜〜〜胡^{クルミ}櫛のちゆるやあハ

希 因
京 射 堂
子 鳳
玉 斧
洗 雪
涼 俤
五 裘

涼—とを^{ユツ}—の^ハる^ウや^ウな
涼—とを^{ユツ}—の^ハる^ウや^ウな
涼—とを^{ユツ}—の^ハる^ウや^ウな
涼—とを^{ユツ}—の^ハる^ウや^ウな
涼—とを^{ユツ}—の^ハる^ウや^ウな
涼—とを^{ユツ}—の^ハる^ウや^ウな
涼—とを^{ユツ}—の^ハる^ウや^ウな
涼—とを^{ユツ}—の^ハる^ウや^ウな
涼—とを^{ユツ}—の^ハる^ウや^ウな
涼—とを^{ユツ}—の^ハる^ウや^ウな

秋午
雙飛
一紅
蓮之
其梅
白志
江戶
昭尺
漁遠
龜文

乾河豚 ^{いぬ}

風俗乾^ヒも^ウや^ウな
涼—とを^{ユツ}—の^ハる^ウや^ウな
涼—とを^{ユツ}—の^ハる^ウや^ウな
涼—とを^{ユツ}—の^ハる^ウや^ウな
涼—とを^{ユツ}—の^ハる^ウや^ウな
涼—とを^{ユツ}—の^ハる^ウや^ウな
涼—とを^{ユツ}—の^ハる^ウや^ウな
涼—とを^{ユツ}—の^ハる^ウや^ウな
涼—とを^{ユツ}—の^ハる^ウや^ウな
涼—とを^{ユツ}—の^ハる^ウや^ウな

乙路
東鳥
青藍

百合 ^{ゆり}

日^ヒや^ウな
涼—とを^{ユツ}—の^ハる^ウや^ウな
涼—とを^{ユツ}—の^ハる^ウや^ウな
涼—とを^{ユツ}—の^ハる^ウや^ウな
涼—とを^{ユツ}—の^ハる^ウや^ウな
涼—とを^{ユツ}—の^ハる^ウや^ウな
涼—とを^{ユツ}—の^ハる^ウや^ウな
涼—とを^{ユツ}—の^ハる^ウや^ウな
涼—とを^{ユツ}—の^ハる^ウや^ウな
涼—とを^{ユツ}—の^ハる^ウや^ウな

涼袋
吳江
二毛
雙飛
上毛
友枝
冠子

前春蘿

能くふはもやーみくひのむねあ

千林

復菊

まもやま川海と見えくなく

何坡

復菊にあまごつはやまほら

希因

萱草

桂ふくく藁荷もどーのそれ

汶上

昔もいも今いあはれそ
拙いあはれそやそもあはれそ
今あはれそやそあはれそ

去路
近江日野
士高
凉宇

金銀花

あはれそやそあはれそ
あはれそやそあはれそ

此君
周防三田尻
楽下

藤天蓼

あはれそやあはれそ

奥列来折
一而

紅藍花 へいの

深凡一物おも一と也一紅藍花
新未ハ澄ハ肌ハ水ハ白ハ藍ハ紅ハ水
赤ハ白ハ水ハ赤ハ水ハ白ハ藍ハ紅ハ水
唇もささぬぬ様也一唇ハ一圍
る事ハ乃新に染る也唇ハ水ハ花

江戸女

二蝶

素園

涼袋

全

鵝觀州 かやつ

夏乃藤之也ハアサと梅也ヤアサ

園花

石菖蒲

石菖蒲一服如吳也一とられ老ん

周防山口 甫

田植 たう

うき人ハ一臂ハアサハカゲハ田植也
真留人ハ一臂ハアサハカゲハ田植也
つれよハ一臂ハアサハカゲハ田植也
抱ハ一臂ハアサハカゲハ田植也
畔ハ一臂ハアサハカゲハ田植也
榊ハ一臂ハアサハカゲハ田植也
湖ハ一臂ハアサハカゲハ田植也
新婦ハ一臂ハアサハカゲハ田植也

涼袋

太阜

素園

素園

涼袋

全

加賀金沢

奥羽津輕

露竹

挿^サ處^ト女^メや子^コ乃^ノ泣^ナくま^マ挿^サくゆ^ク
もも捨^スく^ク居^イけを^ケあ^アす^スた^タう^ウ忍^ニぶ^ブ
手^テ中^{ナカ}り^リ藜^{ライ}と^トび^ビ一^{イチ}粒^{リツ}回^マる^ル忍^ニぶ^ブ
澄^スむ^ムす^ス丁^{テイ}班^{ハン}乃^ノ満^{マン}る^ル忍^ニぶ^ブた^タう^ウ忍^ニぶ^ブの^ノ形^{カタチ}
簾^スに^ニ子^コと^ト忍^ニぶ^ブく^ク蘇^ソり^リた^タう^ウ忍^ニぶ^ブ
山^{ヤマ}呼^コぶ^ブと^ト忍^ニぶ^ブ鏡^{キョウ}と^ト回^マる^ル忍^ニぶ^ブの^ノ歌^{ウタ}

如賀 葉拾

上毛高崎 涼戸

文東

水樹

五裘

青田^{アヲ}あ^アと

露^{ツキ}雪^{ユキ}に^ニ花^{ハナ}を^ヲ散^チゆる^ル忍^ニぶ^ブく^ク喜^キ回^マる^ル
流^ナる^ル忍^ニぶ^ブた^タう^ウ忍^ニぶ^ブの^ノ形^{カタチ}
水^{ミヅ}底^{ソコ}の^ノ回^マる^ル忍^ニぶ^ブく^ク喜^キ回^マる^ルの^ノ形^{カタチ}

涼袋

信濃松本 寛之

奥列二本松 一声

澄^スく^クく^ク水^{ミヅ}乃^ノ泣^ナく^ク喜^キ回^マる^ル
露^{ツキ}乃^ノ尾^ビの^ノ小^コき^キや^ヤふ^フる^ル喜^キ回^マる^ル

涼宇 免士

耘^ウた^タら^ラる^ル

目^メ張^テく^ク老^オの^ノ水^{ミヅ}乃^ノ泣^ナく^ク喜^キ回^マる^ル
水^{ミヅ}乃^ノ泣^ナく^ク喜^キ回^マる^ルの^ノ形^{カタチ}
男^{オト}氣^キ乃^ノ何^{ナニ}も^モそ^ソら^ラる^ル喜^キ回^マる^ル

能登七尾 其由 素論

藜^{ライ}あ^アり

杖^{シヅメ}乃^ノ泣^ナく^ク喜^キ回^マる^ルの^ノ形^{カタチ}

出羽 呂九

地膚 きん

はきくもくしんれく階除く掃もくは

上毛高崎 去友風

苺 ごいち

袂くく蟻乃あくくゆく心ちごくを

出雲大社

早松草 さまつ

たけ

早松くけかきまけるもあも松ぼく里
老トシヨリ大オホりまく捨くあり子松草

武加須

晴山

涼戸

紫茄 むらさき

び

葉末屋にも色中へ通るくく印はあき

肥前長崎 里楓

葉のゆきむ葉松花中印あきび

貞休

魚板イサイタくく巾フキさくくきか印あきび

百夫

圃ハタに今五色の薺ソウあきひの那

下毛那波 太呂

十トくく花ハナ選セつつくくゆきま

星斗

水茄 みながき

印もあきびくくくくくくくくくく

涼帝

豇豆 げん

尺シツ度くく出乃掃くぬきくげくく

上毛高崎 把菊

あまのこゝろをよめるささげうた

雲 郎

栗蒔 あき

栗あきも 糖乃拾ひり下りぬ中

自 楽

菰 川 あこも

ふゆへにけむるもあきあき菰川

豊前小倉 李 完

裙帯菜川 むらめ

まぶらきとえくある 裙帯菜川

佐渡 祇 十 南 竹

新竹 こたけ

縮あしに隠れおふせこと

武八王子 進 瓜

新舟も 刺体とあき葉

双 飛 笑 林

柳ほと出てあきけり

凉 袋 雀 阜

新舟や 西やふゆのふりま

青 藍 素 園

尺八のふりつけあきこと

大和 珈 凉 千 代


~~~~~と~~~~~と的やこと~~~~~舟

江戸 千梅

新舟や花こが~~~~~記あがこ

帯河

まごぢるさるも松よあち々~~~~~舟

一鼠

新舟や物忌のよしも低~~~~~も

胡曉

~~~~~杜鵑花~~~~~

江戸 女野菊

五~~~~~も深ぬで~~~~~山つド

涼洲

~~~~~陽乃~~~~~き~~~~~

紫陽花

~~~~~紫陽花~~~~~

大阜

~~~~~乃~~~~~水~~~~~あ~~~~~川

紫苑

あ~~~~~さ~~~~~舟~~~~~川~~~~~

和水

阿~~~~~さ~~~~~舟~~~~~毎~~~~~日~~~~~

紫苑

~~~~~粉團花~~~~~

由戸

~~~~~乳~~~~~乃~~~~~と~~~~~休~~~~~め~~~~~に~~~~~

去路

~~~~~性~~~~~の~~~~~綱~~~~~子~~~~~文~~~~~

合歡花

~~~~~杜~~~~~筋~~~~~

大和柳

~~~~~新~~~~~枝~~~~~も~~~~~

奥州鼓笛

~~~~~み~~~~~

古笛



似城ふおころれと見や 秘ふの巻

涼宇

石榴花 くろなざ

破も如小燕 猶ハ今少あり 巻ざら落  
実のさきく 突ひうけし ちをざら

大坂 すの 芭叩

梔花 のちちる

くらなり やしんむく 合観を 華の友

筑後久留米 薜洲

橘花 をさたち

橘やむうし けちの字ふさく

再可

枸橘花 からたち

うらたらや 苦くく ひを 舞くみ

奥州栗折 得秀

栗花 くまの

傷損乃なる 夏に 秋そや 栗の巻  
ちけりし ち ちくや ち 栗乃 舞

鳥林 双飛

佐香幾農波奈 漢名 未詳

人あし ぬ神や ころきと ちの友

江戸 介我



棟 あふ

じんまると棟やし雨乃むくとも

とて

南天燭花 あまてん

とれ乃むやさしく里とサイ宿く庭

雲和

小袖花 こすべ

偷思ヌスビトをよくあつたゆ花袖は

去路

青小袖 あお

色乃鼻くくくく喜小袖な

涼袋

下枝しもえー持もとく庭く收喜小袖は

涼宇

青山椒 あま

息いきつふく園いん能の活かく喜き山椒

維鳩

青梅實 あお

喜き梅うめや男おとこ能の肌はも涼すずまるるく活

双飛

枇杷實 あ

枇杷あに実みの入いるる中ちゆう映えいまま抱だのの目

東起

梅好うめのの菊きくよよやや枇杷あ能の冷ひやひひと

東起

古今戸部集卷之二

近江膳所

曲翠



甚のい

葉が実を<sup>い</sup>把くハ夏も茶の餌

下毛足利 遼雨

山田御田扇 やまたのい  
あかぎ

御田解持ぬ人<sup>い</sup>ううあふり安

幾曉

住吉御四柱 むきよのよ  
おんたう

吉日が極女とよぞんたう忍うれ

泉州 南天  
下総佐原 鬼工

祇園神輿洗 ぎおんのい  
あらひ

ゆりうけく乳さへもぞお四柱うた

清れつく涼子の葉も御雲昇

京 一九

醜 ひげ  
け

猫乃まこ丸合まうりひくう海

豊後球珠 馬負

氷窟 ひむ

水も氷包か成やひむろも

涼俤

忘れろハ梅見よたうや氷窟さ

麥水

二日うう涼お出るや氷窟守

瀾城 破了



不盡垢離

富士垢離や家とけいふも肥うち  
垢離へ来て是夜より必二垢離

江戸 孤屋 涼休

不二詣

物言を離れしきりふふ訪  
一日孤きりむうや不考訪  
山の前は夏はながれくあき活

乙路 下総小見川 巳十 東起

祇園會

祇園と云やまゝとけいふはんこち

如水

祇園と云やまゝとけいふはんこち  
祇園と云やまゝとけいふはんこち

洗市 六棟

不二雪消

今解る雪やまゝとけいふはんこち

涼休

富士初雪

富士初雪も降りしきりふふ訪  
若くは不考乃暑や今朝の雪  
禁へハ直に活しきりふふ訪

涼休 西羊 麥汀







鶴子花乃落吹刺<sup>ヒルガハ</sup>く<sup>カ</sup>あつさ<sup>ハ</sup>な  
腰掛子袂のさぐ<sup>ヒ</sup>あつさ<sup>ハ</sup>の那  
似<sup>ヒ</sup>城<sup>ハ</sup>結<sup>ハ</sup>鏡<sup>ハ</sup>へかよふ<sup>ハ</sup>あつさ<sup>ハ</sup>の那  
蝶<sup>ヒ</sup>啼<sup>ハ</sup>く<sup>ハ</sup>船<sup>ハ</sup>のう<sup>ハ</sup>うき<sup>ハ</sup>あつさ<sup>ハ</sup>を<sup>ハ</sup>ハ  
不二の雪<sup>ヒ</sup>た<sup>ハ</sup>く<sup>ハ</sup>た<sup>ハ</sup>あつさ<sup>ハ</sup>あつさ<sup>ハ</sup>を<sup>ハ</sup>ハ  
風鈴も<sup>ヒ</sup>と<sup>ハ</sup>結<sup>ハ</sup>意<sup>ハ</sup>れ<sup>ハ</sup>を<sup>ハ</sup>あつさ<sup>ハ</sup>あつさ<sup>ハ</sup>を<sup>ハ</sup>ハ  
射<sup>ヒ</sup>子<sup>ハ</sup>乃<sup>ハ</sup>一時<sup>ハ</sup>一<sup>ハ</sup>幕<sup>ハ</sup>く<sup>ハ</sup>あつさ<sup>ハ</sup>を<sup>ハ</sup>ハ  
糸<sup>カ</sup>子<sup>ハ</sup>ハ<sup>ハ</sup>解<sup>ハ</sup>一<sup>ハ</sup>を<sup>ハ</sup>あつさ<sup>ハ</sup>あつさ<sup>ハ</sup>を<sup>ハ</sup>ハ  
清<sup>ヒ</sup>去<sup>ハ</sup>の<sup>ハ</sup>又<sup>ハ</sup>え<sup>ハ</sup>あつさ<sup>ハ</sup>あつさ<sup>ハ</sup>を<sup>ハ</sup>ハ  
才<sup>ヒ</sup>伎<sup>ハ</sup>も<sup>ハ</sup>つ<sup>ハ</sup>き<sup>ハ</sup>く<sup>ハ</sup>裸<sup>ハ</sup>け<sup>ハ</sup>あつさ<sup>ハ</sup>あつさ<sup>ハ</sup>を<sup>ハ</sup>ハ  
そ<sup>ヒ</sup>ふ<sup>ハ</sup>ち<sup>ハ</sup>の<sup>ハ</sup>塔<sup>ハ</sup>元<sup>ハ</sup>と<sup>ハ</sup>く<sup>ハ</sup>あつさ<sup>ハ</sup>あつさ<sup>ハ</sup>を<sup>ハ</sup>ハ

鳥 涼 李 止 雀 布 蝶 秋 双 京 如  
林 宇 北 弦 睢 流 角 午 飛 千 水

ある<sup>ヒ</sup>花<sup>ハ</sup>乃<sup>ハ</sup>落<sup>ハ</sup>吹<sup>ハ</sup>刺<sup>ハ</sup>く<sup>ハ</sup>あつさ<sup>ハ</sup>あつさ<sup>ハ</sup>を<sup>ハ</sup>ハ  
腰掛<sup>ヒ</sup>子<sup>ハ</sup>袂<sup>ハ</sup>の<sup>ハ</sup>さ<sup>ハ</sup>ぐ<sup>ハ</sup>あつさ<sup>ハ</sup>あつさ<sup>ハ</sup>を<sup>ハ</sup>ハ  
似<sup>ヒ</sup>城<sup>ハ</sup>結<sup>ハ</sup>鏡<sup>ハ</sup>へ<sup>ハ</sup>か<sup>ハ</sup>よ<sup>ハ</sup>ふ<sup>ハ</sup>あつさ<sup>ハ</sup>あつさ<sup>ハ</sup>を<sup>ハ</sup>ハ  
蝶<sup>ヒ</sup>啼<sup>ハ</sup>く<sup>ハ</sup>船<sup>ハ</sup>の<sup>ハ</sup>う<sup>ハ</sup>う<sup>ハ</sup>き<sup>ハ</sup>あつさ<sup>ハ</sup>あつさ<sup>ハ</sup>を<sup>ハ</sup>ハ  
不<sup>ヒ</sup>二<sup>ハ</sup>の<sup>ハ</sup>雪<sup>ハ</sup>た<sup>ハ</sup>く<sup>ハ</sup>た<sup>ハ</sup>あつさ<sup>ハ</sup>あつさ<sup>ハ</sup>を<sup>ハ</sup>ハ  
風<sup>ヒ</sup>鈴<sup>ハ</sup>も<sup>ハ</sup>と<sup>ハ</sup>結<sup>ハ</sup>意<sup>ハ</sup>れ<sup>ハ</sup>を<sup>ハ</sup>あつさ<sup>ハ</sup>あつさ<sup>ハ</sup>を<sup>ハ</sup>ハ  
射<sup>ヒ</sup>子<sup>ハ</sup>乃<sup>ハ</sup>一<sup>ハ</sup>時<sup>ハ</sup>一<sup>ハ</sup>幕<sup>ハ</sup>く<sup>ハ</sup>あつさ<sup>ハ</sup>あつさ<sup>ハ</sup>を<sup>ハ</sup>ハ  
糸<sup>カ</sup>子<sup>ハ</sup>ハ<sup>ハ</sup>解<sup>ハ</sup>一<sup>ハ</sup>を<sup>ハ</sup>あつさ<sup>ハ</sup>あつさ<sup>ハ</sup>を<sup>ハ</sup>ハ  
清<sup>ヒ</sup>去<sup>ハ</sup>の<sup>ハ</sup>又<sup>ハ</sup>え<sup>ハ</sup>あつさ<sup>ハ</sup>あつさ<sup>ハ</sup>を<sup>ハ</sup>ハ  
才<sup>ヒ</sup>伎<sup>ハ</sup>も<sup>ハ</sup>つ<sup>ハ</sup>き<sup>ハ</sup>く<sup>ハ</sup>裸<sup>ハ</sup>け<sup>ハ</sup>あつさ<sup>ハ</sup>あつさ<sup>ハ</sup>を<sup>ハ</sup>ハ  
そ<sup>ヒ</sup>ふ<sup>ハ</sup>ち<sup>ハ</sup>の<sup>ハ</sup>塔<sup>ハ</sup>元<sup>ハ</sup>と<sup>ハ</sup>く<sup>ハ</sup>あつさ<sup>ハ</sup>あつさ<sup>ハ</sup>を<sup>ハ</sup>ハ

能登七尾 北 種  
越中 虎 角  
雲 帆 保  
江初八幡 帆 保  
全 兔 上  
全 鼠  
一 鼠  
全 鼠  
雲 和  
古 由



川中に艾の如び於あつさうな  
断株をさきり見さるる素の素  
影よつく霞一節於あつさうな  
あつさうな指もさるれぬ於あつさうな  
湊合乃乃所ありしあつさうな  
川系子の田原を渡る河のつな  
砂濼乃乃多きあつさうな  
之井も於あつさうな  
雲霞へ美人さるるあつさうな  
蚊帳ひとへ度さるるあつさうな  
巻柏乃乃糸さるるあつさうな

深魚 西羊 素園 示行 竿秋 輕素 眠居 笑林 眠棠 雨篁

江戸

京

常陸小田

船中さるる柳へさるるあつさうな

常陸真壁 橋

登中さるる麻糸乃おほきあつさうな

女本庄 佳月

下志さるる糸乃さるるあつさうな

雲峰 くの

邸社に志教さるるあつさうな  
蛤乃城あつさうな  
霽雨ハまど流下根のさるるあつさうな  
逆さるるあつさうな  
香笠さるるあつさうな  
けあつさうな

北枝 其汀 川夕 麥林 涼体 梅路







中少だちや 舟中 孤蝶 孤人 五法く  
凍るよ 蓮へ 丁班と 上ヶく けく

冬 涉  
雨 石

薰風 かざる

宇治く 出く 夏の 盡や 風 薰 終

長崎  
路 圭

避暑 ひさみ

涼く 中 袖へ ちく ちく 山 志 敷  
涼く 中 水乃 中 けく 夕 けく け  
芝 子 あり 物 けく けく けく けく けく  
こ 亦 も けく と お 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

涼 袋  
全 糸  
止 絃  
許 六

護 朽 珠 子 梅 庵 ちく ちく ちく ちく ちく  
あ ちく ちく ちく ちく ちく ちく ちく ちく ちく  
川 風 孤 鬱 と けく けく けく けく けく けく  
磬 麿 の 葉 けく 卵 ちく ちく ちく ちく ちく  
終 末 乃 紀 けく けく けく けく けく けく けく  
桂 仕 士 の 人 けく けく けく けく けく けく けく  
船 既 子 汗 ぬ ぐ けく けく けく けく けく けく  
半 ち けく けく けく けく けく けく けく けく けく  
床 けく けく けく けく けく けく けく けく けく  
葉 枝 けく けく けく けく けく けく けく けく けく  
宛 持 橋 けく けく けく けく けく けく けく けく けく

蘆 帆  
能登橋  
免 舟  
輕 素  
竹 浪  
琳 李  
上列高崎  
山 小  
瀾 城  
恰 也  
素 園  
白 枝  
江  
紀 影







古今片尋明集卷之三

角<sup>スモ</sup>能<sup>トリ</sup>人<sup>シ</sup>能<sup>シ</sup>裸<sup>シ</sup>くくくくくく

文史

警者避暑 おどろきの

吾と探<sup>ウ</sup>くくくくくく

古由

鞍馬竹伐 くらまのたけ

牛伐<sup>ウ</sup>能<sup>シ</sup>手<sup>テ</sup>ぎ<sup>ハ</sup>ハヤ き能<sup>シ</sup>新<sup>シ</sup>の中

丹後 扶風

摺扇 あふき

孝<sup>カウ</sup>行<sup>コウ</sup>子<sup>シ</sup>蚊<sup>カ</sup>帳<sup>ヤ</sup>乃<sup>ハ</sup>ふ<sup>ハ</sup>く<sup>レ</sup>る<sup>ハ</sup>あ<sup>ハ</sup>き<sup>ウ</sup>ら<sup>ハ</sup>な<sup>ハ</sup>  
後<sup>ハ</sup>う<sup>ハ</sup>く<sup>ハ</sup>鬼<sup>カ</sup>の<sup>ハ</sup>そ<sup>ハ</sup>よ<sup>ハ</sup>く<sup>ハ</sup>何<sup>ハ</sup>も<sup>ハ</sup>の<sup>ハ</sup>那<sup>ハ</sup>

一鼠 為谷

お<sup>ハ</sup>く<sup>ハ</sup>く<sup>ハ</sup>も<sup>ハ</sup>蜜<sup>ハ</sup>乃<sup>ハ</sup>ぬ<sup>ハ</sup>け<sup>ハ</sup>る<sup>ハ</sup>何<sup>ハ</sup>も<sup>ハ</sup>の<sup>ハ</sup>き<sup>ハ</sup>

眠石

系<sup>ケイ</sup>能<sup>シ</sup>務<sup>ム</sup>ッ シ活<sup>カク</sup>ハ シ亦<sup>オク</sup>ハ シあ<sup>ハ</sup>き<sup>ハ</sup>の<sup>ハ</sup>な<sup>ハ</sup>

榎雪 信列松本

も<sup>ハ</sup>ち<sup>ハ</sup>之<sup>ハ</sup>て<sup>ハ</sup>名<sup>ハ</sup>無<sup>ハ</sup>教<sup>ハ</sup>多<sup>ハ</sup>何<sup>ハ</sup>も<sup>ハ</sup>の<sup>ハ</sup>な<sup>ハ</sup>

琴時 奥列保原

折<sup>セ</sup>ハ シ持<sup>チ</sup>ハ シ亦<sup>オク</sup>ハ シあ<sup>ハ</sup>き<sup>ハ</sup>の<sup>ハ</sup>な<sup>ハ</sup>

雀阜 玉川

團扇 ぢら

老<sup>ラウ</sup>能<sup>シ</sup>乃<sup>ハ</sup>名<sup>ハ</sup>を<sup>ハ</sup>く<sup>ハ</sup>く<sup>ハ</sup>免<sup>ハ</sup>く<sup>ハ</sup>又<sup>ハ</sup>何<sup>ハ</sup>も<sup>ハ</sup>の<sup>ハ</sup>な<sup>ハ</sup>

双飛 加賀山

呵<sup>カ</sup>子<sup>シ</sup>能<sup>シ</sup>極<sup>キョク</sup>子<sup>シ</sup>能<sup>シ</sup>あ<sup>ハ</sup>い<sup>ハ</sup>ぬ<sup>ハ</sup>く<sup>ハ</sup>も<sup>ハ</sup>の<sup>ハ</sup>な<sup>ハ</sup>

山隣 加賀山

榊<sup>セキ</sup>梯<sup>ダ</sup>乃<sup>ハ</sup>活<sup>カク</sup>ハ シ亦<sup>オク</sup>ハ シあ<sup>ハ</sup>き<sup>ハ</sup>の<sup>ハ</sup>な<sup>ハ</sup>

破了 破了

折<sup>セ</sup>ハ シ何<sup>ハ</sup>も<sup>ハ</sup>の<sup>ハ</sup>な<sup>ハ</sup>

祇座

古今行歌月頌集卷之三

四十一



牧戸の火は曲りたるを女宗麻呂

湖

簞 たらむ

あはむ心結つ川もあはたむ

冷つてこゝろ一橋の陰やたの刻ら

内外は森物津やたの刻ら

紙乃籠懐歩一たの身一紙

青藍 武羽生 我后

可也 西羊

竹夫人 かたごま

竹夫人のよにまゝれとはひいさよ

夏ハ改弦うらゝ居るや一竹夫人

涼体 維鳩

流るる藤百指乃命婦や一竹夫人

去々られと子いとよぎらり竹夫人

竹夫人いびき嬉ひ紙むつち一と

抱膝やどらら向うも骨の膚

上列 雲 岫

越高田 見風

素琴

鼠夫

掛香 かけ

懸多申あへむえなうぬ人でま一

季吟

浚井 はら

浚井や忘れと瓜とワらふ

兔士



曝布 ばら

もろく 於ろ乃 ちろ ちろ ちろ ちろ  
ちろ 山乃 新先 事乃 ちろ ちろ ちろ  
般 於 大乃 於 母 中 乃 概 也 ちろ ちろ  
松 げ ちろ ちろ ちろ ちろ ちろ ちろ

上列 老 園 椎 雨  
下総 佐 原 四 孔  
長崎 破 了  
宇 鹿

清水 しみづ

山 乃 志 乃 物 乃 乃 乃 乃 乃 乃  
乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃  
乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃  
乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃  
乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

武 村 園 凉 袋  
温 故  
兔 士

人 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃  
乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃  
乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃  
乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃  
乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃  
乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃  
乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃  
乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃  
乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃  
乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

上 毛 天 雨 凉 帆  
伊 勢 四 日 市 馬 曹  
武 大 官 律 水  
武 小 川 百 道  
常 陸 府 中 鬼 泉  
素 琴  
雨 室  
洗 雪  
全 址  
李 址  
凉 袋



後々馬路新出者一之何の事  
先途乃如少川て志す一之何の事  
剛力能治掌之吾旨一之何の事  
判刀と笈のり物一之何の事  
見之ゆけと鏡乃たす新清水  
不空能新撰をどる何の事  
静候一之何の事  
大名乃よご一之何の事  
公等能書と陳の事一之何の事  
解能孤月乃動く事一之何の事  
路傍へ答へる事一之何の事

一 觀  
文 東  
東 起  
輕 素  
未 了  
麥 水  
江 扇 裡  
入 楚  
能 宜 考  
秋 干  
買 明

振袖也後一之何の事  
大橋へ志す一之何の事  
あ一之何の事  
望乃端を岩乃く一之何の事  
山を眺む能事一之何の事  
岩にさくもとらそが新志一之何の事  
空へ見るととらそが新志一之何の事  
飲ぶ能事一之何の事  
湯杖を思ふ事一之何の事  
船政始函一之何の事  
贈へ来たた息一之何の事

一 紅  
瀾 城  
白 枝  
祇 棠  
以 秀  
古 硯  
画 洲  
可 福 鳴 可 卿  
柳 水  
洲 水







冷餅戸あ〜〜〜

支考

練告天子 練 告 天 子

ね衣と〜〜〜

武本元 女市 紅

見〜あ〜く〜人の言〜

武本元 五 袈 白 圭

〜〜〜

蝉 蝉

〜〜〜

双 飛

〜〜〜

左 龍

松〜と〜

兔 士

〜つ〜あ〜水吸〜

庭 城

〜子〜健〜

一 鼠

〜葉〜の〜

可 枝

〜牛〜

信列 素 秋

〜土〜

涼 侘

〜極〜

尾 城 水 兒

〜口〜

冠 子

〜帆〜

冠 子

飛織蟲 飛 織 蟲

〜〜〜

京 野 童

古今和歌集卷之二



鷓鴣川

涼しき水くひもあつて驚く事少  
皆麻きくましくぬ火ひく川くま川  
老の才孤子にまことぬ驚きみ水  
親よと見つけくもなる驚く事少

梅路 涼袋 免士 眠棠

川漁か

川がや柳の蔭より人のふ名  
川がや柳の蔭より人のふ名  
川がや柳の蔭より人のふ名  
川がや柳の蔭より人のふ名

長崎 涼袋 越高田 幾里

川漁や柳の蔭より人のふ名  
川漁や柳の蔭より人のふ名  
川漁や柳の蔭より人のふ名  
川漁や柳の蔭より人のふ名

燕石 加金沢 岬呂

瀛鱈

瀛鱈の味は海の子の冷ぬまもなり  
瀛鱈の味は海の子の冷ぬまもなり  
瀛鱈の味は海の子の冷ぬまもなり  
瀛鱈の味は海の子の冷ぬまもなり

波上 出雲全市 楚梅 多少 凉州

鯖釣

鯖釣の味は海の子の冷ぬまもなり  
鯖釣の味は海の子の冷ぬまもなり  
鯖釣の味は海の子の冷ぬまもなり  
鯖釣の味は海の子の冷ぬまもなり

肥前平戸 楚外







藤乃浮珠カキ取ミやーミのハひーハのハ舟  
多タれレ形カ下カ一ヒ後ノ流ハもハ一ヒ美ノ乃ハ花

津國魚崎  
瓦冷

南蘆

萍蓬州

カクハ

かハ初ハ多ハ也ハ一ヒ孫ノ身ハとツきハにハ也ハる  
岸ノ蓬ノ多ノ也ハ一ヒ魚ノとツれハもハ好ノ也ハる  
ハハハ多ハ也ハ猪ノ頭ハもハ流ハ一ヒ乃ハ一ヒく  
かハ初ハ多ハ也ハ孫ノ一ヒ乃ハ一ヒくハ也ハる

加賀金戸

岸呂

東奴

希因

素堂

蓮花

ハレハ

東乃あけハ新ハ糸ハの志ハけハやはハすハ如ハ母

志山

水多ハれハ卵ハもハ水ハもハ花ハれハもハれ  
水ハ多ハれハ卵ハもハ水ハもハ花ハれハもハれ  
水ハ多ハれハ卵ハもハ水ハもハ花ハれハもハれ

羊魁

洗雪

青藍

剪刀州

ハモダ

ねハもハうハ也ハ解ノのハ勢ハ刀ハにあハるハもハりハは

肥後八代

左嵐

鷺鷥州

ハモダ

鷺ハ鷥ハ也ハ旋ノ月ハとハかハらハくハもハもハなり  
窟ハ子ハ也ハ鷺ノ乃ハつハんハぐハ於ハくハり  
さハもハもハ也ハ鷺ノ乃ハつハんハぐハ於ハくハり

桐生

宇冲

汶上

肥前  
尾紫  
貞

古今片歌明題集卷之二



瞿麥 しやこ

あつぐーしや半とくうくあまを  
あでーしや一輪つふさきとあま

破子

風蘭 ふうらん

風葉や夏花衣いなか入、やえりー来る  
風蘭や咲た心象とあげりゆく

梅布 維鳩

地参 つりう

あやまきあやーつりがゆりくを満る

羨濃関 李仁

鋸齒葉景天 さざん

是極く毛虫とゆりあきまらんま

汶上

射于 ひあ

ひあおまや虫花スガシとけりひりく  
花河ミヤギとや一ツと甲あり

出羽 凉 草 風 帘

旌節草 くろん

くろんあ大もきくぬ林ツの舟

杉路



虎耳草 ゆまの

降るるものけしきやゆきおき

丹波 仙壺

葛花 くわの

よみへおれなまきりきりおき  
あまなるをたのしみや着のむ  
川よみのまよあまのひやうき

去路 双飛 涼宇

鼓子花 ひる

ひるがややきりのまにまきり  
鼓子花やふたおきりきり

下總横須賀 一馬 青藍

鼓子花や勢ふりきり 涼袋

ひるがやや日陰ハあれと小松系 全

飛雪がやや裂く鼓乃きり 芳楚

鼓子花やどちりおきも首あはれ 也

ひるがやや梅の臉乃おき 可有

鼓子花や何と揺るも葉あはれ 一鼠

おき 眠石

壺盧花 かぶ

ゆらぐはやまねかられりきり  
ゆらぐはや晩鐘きり

素園 維鳩



ゆふぐちや月をめぐると白ねあそ  
臺へ魚を中へお華あつぬ魚よお  
中へおやもどけとえれを人の家  
臺へ魚もや瀬もおらさげ人もおん

能登藤  
具  
越高田  
李  
洞

眠  
大  
至  
棠

艶花

いろは

うぐいさ花喜乃盆イシモノ中もひさご  
糸も乃花ほごさそがぬひさごうさ  
きくくの家のさくくもむひさご

笑  
林

上毛瀬戸  
雨  
州  
忍

凌霄花

のろ

凌霄花さるやのいく地乃る

下結佐原  
忍  
明

向日花

ひま

日おしあや一むくさむさうら白

芭  
叩

草綿花

たふの

是見あそ白もさうげ草跡也  
今乃日一ぬくめさ草さこのまね  
姑一移好く教やさくさく

武用戸  
兔  
塚  
伊勢山田  
其  
葉  
文  
史

茅膏菜

たぐ







本はがりの作通がはより担をべり 李北

天満祭 よつり

水ミヅハ水ミヅハ水ミヅをつくすはるす  
提チ提チで水ミヅもよめしははつりうお  
徳トク安ヤスいそ汗アセを流ナへは祭マツリの那  
ふ教サキの花ハナもも飛ツや梅ウメはく

梅林

一鼠

青藍

瀾城

住吉祭 まみよ

死シ將マシ橋ハシり順ツふくふはるす

二毛岡野

十雨

御稔 みと

海ウミ山ヤマにおきく水ミヅもみそさか  
樽ヅルの酒サケ小コ見ミく路チや津ツ後ノチ川カハ  
是コトまくと夏ナツにまをうつ後ノチに

大至

田社

凉保







